



5年
加藤 純子さん



※「へん」「じく」
「かまえ」に気を
つけ、一字一文字
ていねいに書いま
した。



3年
川野 恵美さん



『大きくなった
私のヘチマ』

※葉っぱの形をよく
見て描きました。
洋服の色が気に入
っています。



『ストライプの中へ』



6年
越川 公雄君

※マジックで塗り
つぶす所が雑に
なったが、仕上
がりがよくでき
てよかったです。



『かもとびのつばい』

4年
土屋 寿子さん

※朝やけの空の色
がよくできたと
思います。ごん
べえが飛んでい
るよつにするの
が難しかったです。



ひかり歌壇

青柳 フミ (橋場)

綿雲のちぎれ浮かべる夕空を
眸目指すか野鳥群れ飛ぶ
心安まる静かな夕昏れの景

椎名 静子 (二又)

ただならぬ音に飛び出す真向ひの
大樹巻き込み崖の崩るる
雨に苛まれる昨今咄嗟の出来事をよく
表現されました。

土屋 好 (虫生)

土間いっぱい新米袋積み了へて
子等の数ふる声澄み透る
収穫の喜びが余情となって下旬に表れ
ました。

高梨 キヨ (木戸)

旅路来て鯨潮吹く見ゆと聞く土佐の
海原おだしく晴るる
期待に胸をふくらませ乍らの楽しい旅
の情感が盛らるる。

『歌評』 竹内 紀葉